

京急高架下かいだん広場

—住民と共に作る木製の多目的広場—

A STEP PLAZA BENEATH THE OVERPASS OF KEIHINKYUKO-LINE (KOGANECHO)

Wooden multi-purpose open space to make along with the residents

西倉 潔

NISHIKURA Kiyoshi

高架下の木製の「かいだん広場」

この街にふさわしい施設を作ろうと集まった熱意ある周辺住民の要望は、「鉄道高架下に広場が欲しい」だった。集会、コーラス、朝市、演劇、映画会、子供の遊び場、縁日、おしゃべりの場、まさに多目的な広場の要望だった。その要望は人々のこの街の「明日への希望」の中から出て来る楽しいもので、あれもしたいこれもしたいと望まれる「施設」は幸福だ。新しい街のあり方を目指す人々と公共空間の理想の関係がここにあると思った。

売春を行う非合法飲食店を排除するために長期間鋼板に囲われて、その様子を外から見る事が出来なかった横浜黄金町京急電鉄高架下は、鋼板仮囲いを取り去るとコンクリートの太い柱が林立し、梁や柱のコンクリートの塊が空間より勝っているかのように見えた。しかし、ワークショップでベニヤの箱を作り、それを積み上げ登って見ると連続する柱とアーチのように見える連続する梁が、美しいRC打ち放しと相まって引き込まれるような繊細な空間を作っているのを発見した。

周辺住民は、売春の街という負の過去を持つこの空間に希望の場を作りたいという。話を聞きながら私はペンを動かし、解答は瞬間的にできた。時には座席に、時には朝市の野菜をならべる台に、時には子供の遊び場にと多様な使い方ができる「かいだん」のある木製の広場を提案した。

ヨコハマ市民まち普請事業

この「かいだん広場」は横浜市の事業である「ヨコハマ市民まち普請事業」の助成で作られている。一般的な公共事業は主に行政内部の発案で種々の議論を経て、事業化され、設計委託され、入札で工事業者が決定して公共施設が完成していく。情報は公開されていくが市民は事業からは離れた存在となる。しかし、この「ヨコハマ市民まち普請事業」は市民(地域住民)が主体になる。市民チームを作り、市民が発案して、チームに設計者を招き市民が望む施設構想をまとめていく。横浜市内各所にそのようなチームが立ち上がり、横浜市政主催のコンテストで、市民みずからその構想を競い合い優秀作数点に500万円程度の助成が行われ、その助成金で市民提案の施設作りをしていくという新しい考え方の公共事業システムである。

市民協働の施設づくり

地域住民の要望から始まり、多目的な広場「かいだん広場」は構想され、コンテストで評価され、助成金を受けることになったが、決定した金額は460万円だった。この金額では工事費を全部まかなうことは不可能なのははっきりしていた。しかし足りないところは住民の手助けでまかなっていくという熱意があった。簡単で危険のない作業には、住民の積極的な参加があり、施工過程から現場は盛り上がりを見せていた。仕上げる塗装工事には、5歳の子供から高齢者まで30人もの近隣住民が参加し文字通り市民協働の施設作りとなった。

黄金町芸術センター

この「かいだん広場」のある横浜黄金町はかつては特殊飲食店が立ち並び劣悪な環境の街だった。その街を再生させようと立ち上がった住民と行政は黄金町をアート・芸術により作り替えようとしている。かいだん広場が「ヨコハマ市民まち普請事業」のコンテストに臨んでいる頃、高架下に連続するように4つの施設建設の構想が浮かんできた。集会所、工房、カフェ、ギャラリーである。それぞれ200㎡ほどの施設は、周辺住民とこの街に住み創作するアーティストの利便を図るとともに黄金町のまちづくりの中心的施設「黄金町芸術センター」として構想され設計されている。かいだん広場からギャラリーまでの100メートルは、つい最近まで鋼板で覆われた殺伐とした風景だったが、この5つの施設の完成により風景は一変した。子供の声が聞こえ人々が訪れアーティストが活動する新しい街になりつつある。

かいだん広場は構想から施工まで地域住民の参加によって作られた住民のための施設である。ここでは年間を通して多種多彩な行事が行われている。バザー、コーラス、新年会、演劇、舞踏、芸芸会、お茶会などなど地域のセンター的な場所として地域住民に愛されているのを感じる。それは自分たちが作った施設であるという愛着と誇りがそうさせているのだと思う。そしてなにより住民自身が驚いたのは、かつては劣悪な環境だった鉄道高架下が「かいだん広場」に変わり、「子供達の遊ぶ楽しそうな声が聞こえる」ことなのだそうだ。



夜景。高架の梁や柱には、保安も兼ねて映像作品が映写されている。



高架の上を電車が走り、高架下にかいだん広場が見える。

設計期間：2010年5月～2011年6月

施工期間：2011年7月初～2011年8月末

場所：横浜市中区日ノ出町 2-158

施主：初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 チームひろば

担当者：山野慎吾

設計：西倉潔

施工：京急建設+知久工務店

面積：120.05 m²

掲載紙：domus 969 May2013(イタリアのデザイン雑誌)

新建築 2012年11月号

Werk Bauen Wohnen 2013年2月号(スイスのデザイン雑誌)

受賞：日本建築学会作品選集2015

日本建築学会関東支部神奈川支所賞



木製のかいだん広場。



舞踏公演。



塗装作業は子供から高齢者までの協力があった。



演劇公演もよく行われる。



演芸会の様子。



朝市でにぎわう。



バザーは毎月開かれる。



平面図兼配置図 S=1/500

